

愛知県中学校総合体育大会に関わる複数校合同チーム参加規程

愛知県中小学校体育連盟

愛知県中小学校体育連盟は、少子化に伴う運動部活動参加生徒数の減少で単独チームによる大会参加が困難な学校に配慮し、少人数の運動部にも大会参加の機会を与えるという趣旨から、以下の条件で複数校による合同チーム（以下「合同チーム」という。）の愛知県中学校総合体育大会への参加を認める。

1 合同チームとしての活動条件

合同チームは、日常において計画的に学校の部活動として監督が指導し、各学校の教員が引率して、練習していることが大会参加の前提条件となる。

合同チームの引率・監督は、出場校の学校の校長・教員・部活動指導員(名古屋は外部顧問)・適切であると校長が認めた外部指導者(コーチ)とする。なお、東海大会以上に出場する際には、代表引率・監督は、校長・教員しかなれない。

2 合同チーム編成の条件

(1) 競技と人数の範囲

合同チームの編成は、個人の部をもたない団体競技に限定する。原則、()内の人数を下回った場合に、合同チームを編成することができる。

- | | | | |
|-----------|-----|----------|------|
| ・バスケットボール | (5) | ・サッカー | (11) |
| ・ハンドボール | (7) | ・軟式野球 | (9) |
| ・バレーボール | (6) | ・ソフトボール | (9) |
| ・弓道 | (3) | ・アイスホッケー | (11) |

(2) 編成の組合せ

- ① (1)の条件に当てはまるチーム同士の合同チーム。
- ② (1)の条件に当てはまるチームと出場最低人数を満たしているチームとの合同チーム。ただし、②で生じた合同チーム内で、出場最低人数を満たしているチームが単独チームとしても成り立つ場合、単独チームとしての出場はこれを認めない。

3 複数校合同の範囲

その範囲は、原則支所(名古屋は支部)の範囲における2校間での編成とする。

4 編成の手続き

- (1) それぞれの学校間で校長が合同チームを編成することに合意した場合、当該校の校長はその旨を中小体連支所長(名古屋は支部長)に申請し、支所中小体連(名古屋は支部中小体連)で協議の上、承認の可否を判断するものとする。
- (2) 承認した場合、中小体連支所(名古屋は支部)大会申込書の写しを愛知県中小体連事務局に提出する。愛知県中小学校体育連盟事務局は、承認書を発行する。
- (3) 特別な事由により合同チームを編成する場合、支所及び支部中小体連で協議の上、支部中小体連が本連盟事務局に申請し臨時に常任理事会を開催し決定する。

5 その他

- (1) チーム名については、合同する学校名を連記する。
- (2) 該当年度の前年県総体以降に複数校合同チームが結成され、活動実績のあるものについては、新入生の入部等で出場最低人数を上回った場合でも、継続して合同チームとして参加を認める。
- (3) 本規程と「愛知県中学校総合体育大会に関わる拠点校部活動参加規程」に則っていることを条件に、県中小学校体育連盟、同運動部、事業主体の連携した判断により、複数校合同チームと拠点校部活動を合わせた形での大会参加を認める。
- (4) 編成規定において問題が生じた場合はその都度見直しを行うものとする。

附 則

この規定は、平成15年4月1日より施行する。

- | | |
|------------------|---------------|
| 付記(平成29年2月21日改訂) | (令和6年2月13日改訂) |
| (令和3年2月17日改訂) | (令和7年2月18日改訂) |
| (令和4年2月15日改訂) | (令和8年2月17日改訂) |